

単元名 【旧】もっと なかよし まちたんけん

配当時間 12時間

単元の目標 (1) 自分の町で働いている人達について調べる活動の中で、そこに暮らしたり働いたりする人々の工夫や、町のよさや、季節による自然の変化などに気付くことができる。
 (2) 町で働いている人達にインタビューに行き、発見したことや体験したことなどをまとめ、インタビューした人達やまわりの人々に伝えることができる。
 (3) 自分たちが住む町で働いている人達について、友達と協力して調べたり探検したりする活動を通して、そこで暮らす人々と関わり、自分たちの町に対して親しみや愛着をもとうとする。

標準的な展開例

02060205_001

【準備等】春に使用した絵地図、春のまち探検の写真、記録カード、模造紙、探検バッグ、デジタルカメラ、電子黒板等

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 春のまち探検や夏休みの生活などを振り返り、地域の場所やもの、人とかかわった経験を伝え合う。</p> <p>★地域の場所やもの、人とかかわったことを伝え合おう</p> <p>○地域の場所やもの、人とかかわったことを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春のまち探検で和菓子屋さんに行きました。夏休みにお母さんと行ったときには、水まんじゅうを売っていました。 ・公民館の前を通ったら、太鼓の音が聞こえました。 <p>○友達の話聞いて、気になることを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春に探検に行ったきは、水まんじゅうは売っていませんでした。今は、どんなおまんじゅうを売っているのか知りたいです。 ・ぼくも太鼓の音を聞いてみたいです。誰が太鼓を叩いているのか気になります。 <p>2 まち探検で行きたい場所、見たいもの、会いたい人、聞きたいことなどを記録カードにかいたり、探検のグループを決めたりする。</p> <p>★まち探検の場所を決めよう</p> <p>○行きたい場所や会いたい人、聞きたいことなどを伝え合いながら、記録カードにかく。</p> <p>○まち探検のグループをつくる。</p> <p>3 グループごとに探検の計画を立て、挨拶やインタビューの練習をする。</p> <p>★まち探検の準備をしよう</p> <p>○探検の計画を立てて、めあてをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探検に行く日時 ・係（役割） ・行く場所、見たいもの、会いたい人 ・探検のめあて（聞きたいこと） ・わたしたちの約束 ・通る道 等 <p>○計画を記録カードにかく。</p> <p>○グループごとに、挨拶やインタビューの練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こんにちは。〇〇小学校の〇〇です。 ・生活科の学習でまち探検をしています。 ・今、お話をしてもいいですか。 ・〇〇の写真を撮ってもいいですか。 ・ありがとうございました。 ・さようなら。 <p>4, 5 まち探検に行き、地域の人とかかわったり、インタビューをしたりする。</p> <p>★もう一度まちの「すてき」探検に行こう</p> <p>○探検のめあてや約束を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探検のめあて（聞きたいこと） ・探検のルールやマナー 	<p>・前回のまち探検では、主として場所やものとかかわりを重視した探検を行った。今回は人を通して対象物に迫ったり、対象物について調べることを通して人とかかわりを深めたりするなど、地域の人とかかわりを重視した学習を展開するようにする。</p> <p>・春のまち探検の写真や絵地図を手がかりにして、春のまち探検の後、夏休み中などに地域の場所、もの、人とかかわった経験を伝え合わせる。</p> <p>・教科書P. 70, 71の絵地図のように、児童が新たにかかわった場所、もの、人を青色のカードにかいて、春のまち探検で使った絵地図に貼る。（春のまち探検では、ピンク色のカードを使用）</p> <p>・行きたい場所、会いたい人、聞きたいことなどについて伝え合わせ、2回目の探検への意欲を高める。</p> <p>・最初は明確な思いや願いが無い児童も、友達や教師との会話を通して、自分なりの明確なめあてをもって探検に行けるように支援していく。</p> <p>・行きたい場所や会いたい人ごとに、3～4人程度のグループを編制する。</p> <p>・児童の安全を確保するため、保護者やボランティアの人などの協力を得られるようにしておく。</p> <p>・春のまち探検の経験を生かして、探検の計画を立てるよう助言する。</p> <p>・各グループの道順を把握し、危険箇所や安全な行動について確認する。</p> <p>・探検のめあてに、聞きたいことをかかせることで、人とかかわりを支援する。</p> <p>・方面別の絵地図を記録カードの裏に印刷しておき、歩くコースを記入させるようにする。</p> <p>【評】探検の計画を立てる活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・教科書P. 106～109「べんりてちょう」を参考に、練習させるとよい。</p> <p>・相手の都合を聞いて、地域の人々の迷惑にならないようにインタビューをするように、指導する。</p> <p>・探検場所に、事前に知りたいことや見せてほしいことを伝え、協力を依頼しておくといよい。</p> <p>・前時の記録カード内の、探検のめあてを確認させる。</p> <p>・インタビューで聞いたことを基に、更に質問</p>

- ・緊急時の対応
- ・帰校時刻 等

○計画に従って探検に行き、地域の人とかかわったりインタビューをしたりする。

6 まち探検で聞いたことや気付いたことを伝え合い、記録カードにかく。

★聞いたことや気付いたことを伝え合おう

- 聞いたことや気付いたことを伝え合う。
 - ・ダイコンまんじゅうは、おいもを使ってつくるそうです。まちの名物のだいこんは使っていないそうです。
 - ・〇〇さんたちは、毎週公民館で太鼓の練習をしているそうです。とても大きな太鼓でした。
- 記録カードをかく。

7 もう一度まち探検に行く計画を立て、準備する。

★まちの人となかよくなる計画を立てよう

- 地域の人と一緒にしてみたいことや、もっと聞いてみたいことを伝え合い、探検のめあてを決める。
 - ・おまんじゅうをつくっているところが見たいです。どうして、いろいろな種類の和菓子をつくっているのかを聞きたいです。
 - ・太鼓を叩いてみたいです。どうして毎週太鼓の練習をしているのかを聞きたいです。

8～9 まち探検に行き、一緒にできることをしたりインタビューをしたりして、かかわりを深める。

★まちの人となかよくなろう

- 地域の人とかかわる。
 - ・店の仕事を手伝う。
 - ・店の仕事を体験する。
 - ・作物の収穫を手伝う。
 - ・秋祭りの練習に参加する。 等

- 地域の人の仕事や、地域に寄せる思いを聞く。
 - ・自分のつくった和菓子を食べてもらい、たくさんの人に笑顔になってもらいたいです。
 - ・地元の祭りをこれからも伝えていきたいです。

10 まち探検でなかよくなった人のことをグループで振り返り、他のグループに伝える準備をする。

★なかよくなった人のことを伝える準備をしよう

- 探検を振り返り、伝えることを決める。

- 発表の原稿をかくて、練習をする。

11 まち探検でなかよくなった人のことを発表する。

★なかよくなった人のことを紹介しよう

- 写真や絵地図を見せながら発表する。
 - ・〇〇さんが材料に触ると、手品のようにすてきな和菓子が出来上がります。たくさんの人に喜んでもらえるように、色や形にもこだわって和菓子をつくっているそうです。
 - ・みんなで太鼓を叩いて楽しかったです。大きな太鼓を叩くのは、とても力があるので大変でした。〇〇さんは、「毎年たくさんの人が祭りに来てくれるのが嬉しい」と言っていました。

をしてもよいことを指導しておく。

- ・聞いたことを忘れないよう、簡単なメモができる用紙を持って探検に行かせる。
- ・グループごとに引率者を同行させたりチェックポイントを設けたりするなどして、児童の安全確保を図る。

【評】地域の人とかかわったり、インタビューしたりする活動を通して「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

- ・新しく見つけたことやかかわった人のことを黄色のカードにかいて、春のまち探検や夏休みに各自で行った探検で使った絵地図に貼り足し、情報の交流や場所の確認ができるようにしておく。

- ・児童が無意識に抱いている疑問やつぶやきを取り上げたり、教師が新たな問いをしたりすることで、新たな探検のめあてがもてるように支援する。

- ・聞いたことと気付いたことに合わせて、さらに知りたいこともかくようにさせる。

【評】記録カードへの表現を通して「知識・技能」を評価する。

- ・探検場所への挨拶をし、打ち合わせ、保護者への協力依頼を実施し、児童が対象や人と繰り返しかわることができるよう配慮する。
- ・児童が探検に行った場所で、「手伝う」「教わる」「参加する」などの体験活動が想定できる場合は、教師から活動を依頼しておくようにする。
- ・地域で生活したり働いたりしている人の思いや願いに触れるような質問の内容を考えさせる。

【評】探検の計画を立てる活動を通して「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価する。

- ・探検先に、事前に安全面や衛生面で配慮しなくてはならないことについて確認し、指導しておく。

- ・体験的な活動を通して、日常での仕事内容や活動内容の想像がつきにくい人の働きに着目させたり、まちの人の思いに気付かせたりする。

- ・付き添いの教師や保護者が、地域の人を「すごいね」と称賛することで、児童がその人のすごさに気付けるようにするとよい。

- ・事前に地域の人と連絡を取り、普段どのような思いや願いをもって生活や仕事をしているのかを、児童に分かりやすく話していただくように依頼しておくこととよい。

【評】一緒にできることをしたり、インタビューしたりする活動から「知識・技能」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

- ・次単元の活動への接続を意識し、作品をつくるなどの大がかりな発表とはせず、短時間で準備できる方法で紹介させる。

- ・地域の人のすごいところや、一緒に活動したりすることの楽しさを伝えさせる。

- ・児童が相互に伝えてよかった、聞いてよかったと実感できるような伝え合い交流の場とする。

- ・ここでは、児童の地域への愛着を深めている様子や発表を価値付ける。

- ・電子黒板を活用して、児童の発表に合わせてこれまでの探検で撮った写真を見せるようにするとよい。

- ・まちの絵地図を活用して、自分たちがたくさんの人とかかわったことを振り返り、地域で生活したり働いたりしている人がたくさんいることを実感させる。

- ・「まちの人は喜んでくれるのが嬉しいのですね」など、児童が発表した言葉を繰り返す

